

弱アルカリ性土舗装固化材

ジオベスト
GEO Best

<http://www.takei21.co.jp>
<http://www.geobest.jp>

土に近い　II 環境にやさしい

自然土に近い特性を持つた土舗装固化材



NETIS登録番号 KT:050012-A(舗装工/特殊舗装工)

KT:060104-A(道路維持修繕工/道路防草工)

IT'S登録番号

A-06034(ジオベスト防草)

B-06034(ジオベスト土舗装)

OTO 株式会社 武井工業所

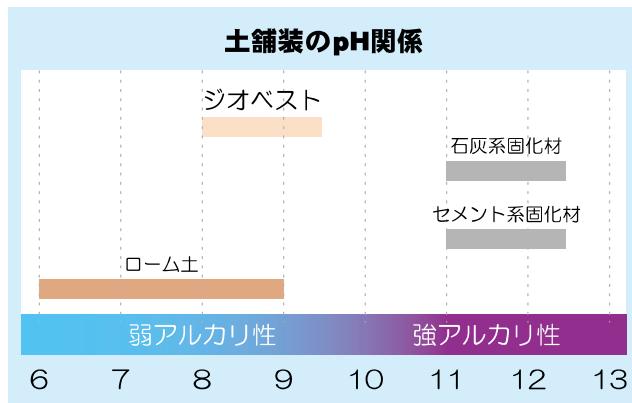
土の風合いを活かした高い景観性
適度な弾性による優れた歩行性
土舗装の特性による表面温度抑制効果などの機能を兼ね備えた環境に優しい固化材がジオベストです。

弱アルカリ性土舗装固化材
ジオベスト
®



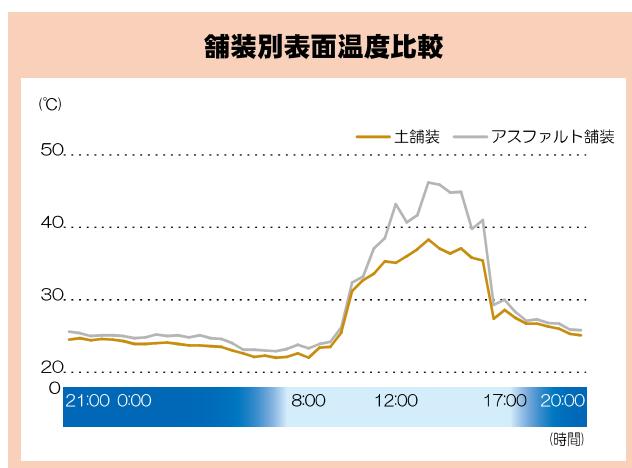
環境に優しい

土に近い弱アルカリ性 (pH値が10以下)
重金属類を含んでいないので、人体・植物・昆虫への負担がありません。
成分、pH値についてヒメダ力急性毒性試験、ラット試験を行い安全性が確認されています。



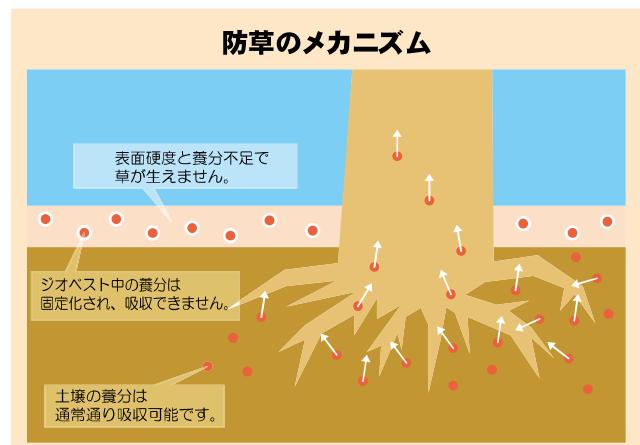
ヒートアイランド対策

透水性・保水性があるため、舗装表面温度がアスファルト舗装に比べ約8°C下がります。



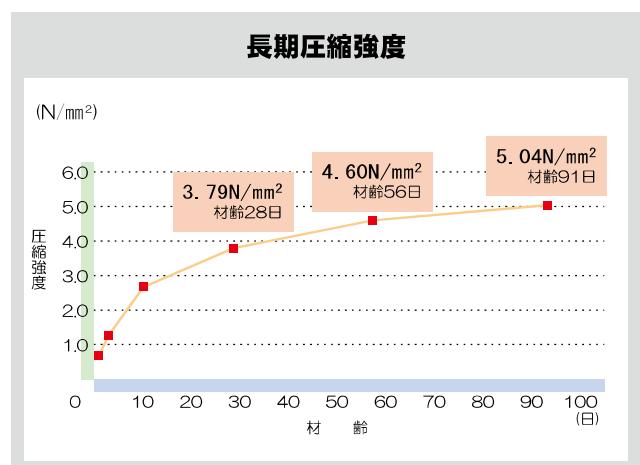
防草効果

土に含む養分(窒素・リン・カリウム)を不溶化することで雑草の発芽を抑えることができます。
土を固めることも防草効果の重要な条件です。
防草効果期間は6~7年です。



優れた固化性能

日本の土質は大きく分けると5種類に分類できますが、すべての土質を固化することができます。
※土中に含まれる鉱物と反応して固まります。



古民家(舗装)



海浜公園(茨城県)

園路(舗装)



公園(埼玉県)

植樹帯(防草)



店舗(茨城県)

遊歩道(舗装)



音戸の瀬戸公園(広島県)

中央分離帯(防草)



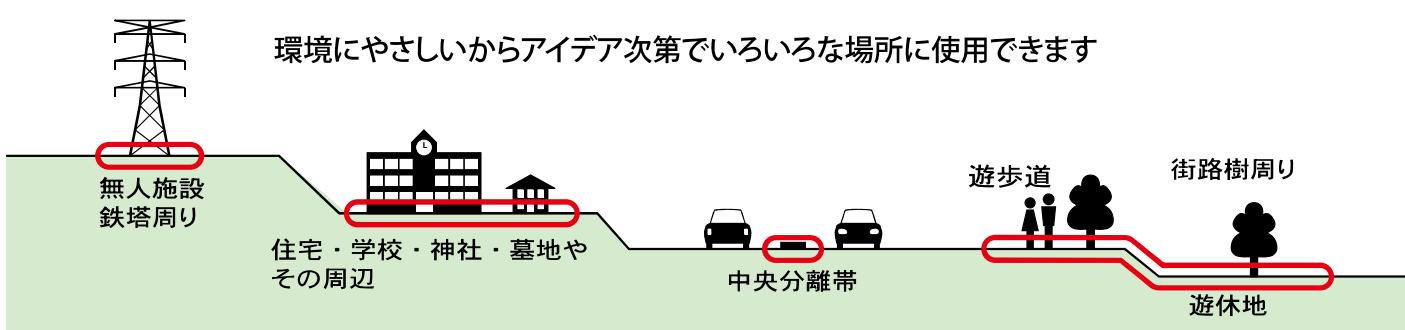
(茨城県)

園路(舗装)



公園(千葉県)

環境にやさしいからアイデア次第でいろいろな場所に使用できます



遊歩道(舗装)



河川(山梨県)

公園(舗装)



城址公園(茨城県)

園庭(舗装)



幼稚園(神奈川県)

公園(舗装)



広場(大阪府)

広場(舗装)



オアシス広場(広島県)

遊歩道(舗装)



河川(東京都)

※除根が不十分な場合や施工条件等により、防草効果が充分に発揮できない場合があります。

ジオベスト舗装

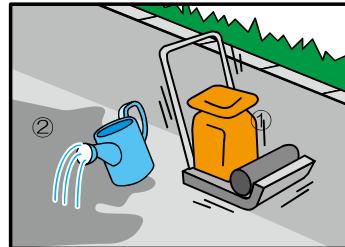
歩行者のみ



歩行者・自転車

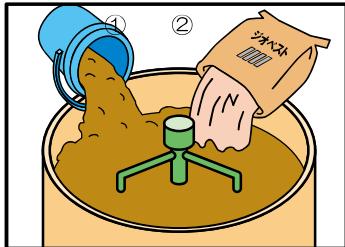


1.下地整正

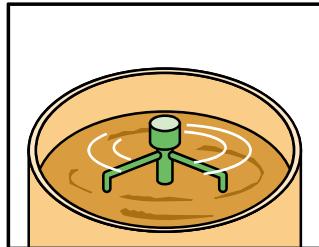


- ①下地は転圧するなどして、平らでよく締固めた状態にしてください。下地はクラッシャーラン(C-30)を締固めた碎石路盤構造としてください。
②舗装材を敷き均す前にジョウロなどで必ず散水をおこなってください。

2.舗装材の混合

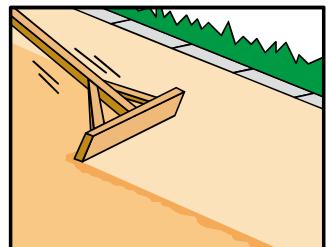


- ①ミキサーに真砂土を投入し、空練りをおこなってください。
②ジオベストを重量比で15%投入し、材料が均一になるまで十分に混練してください。



- 真砂土はなるべく乾燥している状態で混練りをおこなってください。
※発生土の場合も同様です。

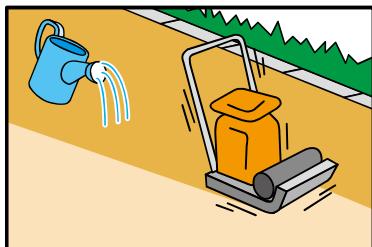
3.敷設



- 十分均一に混合された材料を施工場所へ運搬し、足で踏み込んだ後にレーキやトンボ等を使用し平らになるよう敷き均してください。

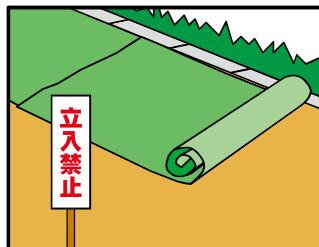
- 余盛りを1~2割程度を考慮し、敷設・敷き均しをおこなってください。

4.散水・転圧



- ジョウロなどで散水(0.1~0.2L/m²)と転圧を2~3回繰り返しながら、仕上げてください。
○フレートコンパクター やローラーなどを使用して十分締固めをおこなってください。これで転圧できない場所(端部など)はハンドバイプレーター等で十分締固めをおこなってください。

5.養生



- 表面が硬化するまでは人などが進入しないようにして養生してください。
○雨・乾燥・凍害などを避けるためにもシート養生をおこなってください。

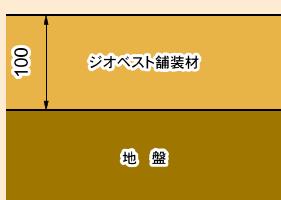
- 養生は夏期1昼夜・冬期2昼夜を目安としてください。

ジオベスト防草処理

一年草



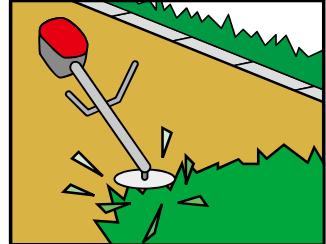
多年草



- ①耕運機または人力(鍬など)等で現地を攪拌してください。
目立つ草および根が残っている場合は除去してください。

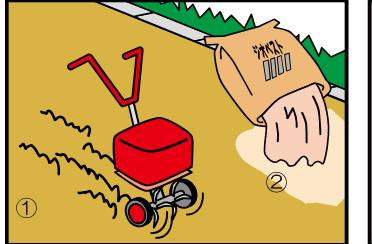
- ②規定量のジオベストを計測し、現地に敷き均してください。

1.雑草等の除去

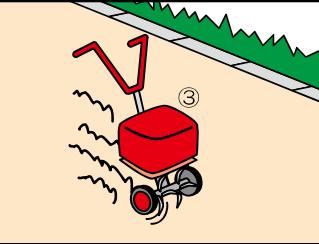


- 現地に草が生えている場合には、草刈りをおこない草を除去してください。
※必要な限り除根もしてください。

2.現地の攪拌・ジオベストとの混合

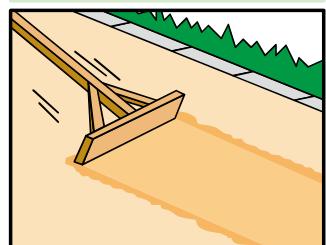


- ①耕運機または人力(鍬など)等で現地を攪拌してください。
目立つ草および根が残っている場合は除去してください。
②規定量のジオベストを計測し、現地に敷き均してください。



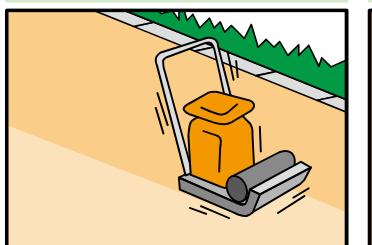
- ③耕運機または人力(鍬など)等で土とジオベストを混合してください。

3.敷設



- 十分均一に混合したら、レーキやトンボ等を使用し平らになるよう敷き均してください。

4.転圧



- フレートコンパクター やローラーなどを使用して十分締固めをおこなってください。
これで転圧できない場所(端部など)はハンドバイプレーター等で十分締固めをおこなってください。

5.養生



- 転圧により表面仕上げが終了したら、ジョウロなどで十分シャワー散水をおこなってください。
○表面が硬化するまでは人などが進入しないようにして養生してください。

販売元



株式会社 武井工業所

〒315-0018 茨城県石岡市若松一丁目3番26号

開発推進課 TEL 0299-24-5214 FAX 0299-24-5205
e-Mail kaihatsu-suisinn@takei21.co.jp

西日本地区 販売代理店

ジオサプライ合同会社

〒731-5136 広島県広島市佐伯区楽々園5-10-5
TEL/FAX 082-299-0681